



みなみっ子

学校教育目標

自立

協働

創造

69号

令和8年9月29日(火)

南城市立大里南小学校

文責 校長 與儀 毅

沖縄まるごとゴミ拾い&2026WORLD CLEANUP DAY 参加企画 「エコホヌ」主催 海岸清掃&環境ワークショップ

地域の未来へつながる体験

エコホヌ主催のもと、知念中学校の生徒や大里南小学校の児童、さらには JICA の研修生が一堂に会し、海岸の清掃活動と環境ワークショップが盛大に実施されました。参加者たちは年齢や国籍の垣根を越えてコミュニケーションを図りながら、力を合わせて砂浜の美化に尽力しました。単なるゴミ拾いに終始せず、回収した廃棄物の種類や地球環境への悪影響について深く考察する教育的なプログラムも組み込まれました。南城市の豊かな海を守る実践的な取り組みを通じて、全員が地球規模の海洋プラスチック問題に対する危機感を共有しました。地域の子供たちにとって、このイベントは国際交流と環境保全の重要性を同時に肌で感じられるかけがえのない貴重な体験となりました。



開催日時・スケジュール

9月26日(土) 9:00~12:00 海岸清掃 場所: 志喜屋漁港~知念漁港の海岸 砂浜のゴミ拾い、回収廃棄物の分類

12:30~5:30 環境ワークショップ(交流会) 場所: 大里南小学校 多目的教室

グループに分かれディスカッション「島に住んでいる私たちが海のゴミを減らすためにできること」

主催団体「エコホヌ」について: メンバー: 中学生・高校生・大学生の計4名 活動拠点: 南城市知念海岸

ビジョン: 将来的な「南城一斉ゴミ拾い」の開催を目指し、地域の手ゴミ削減に向けて活動中。

参加者・協力 知念中学校の生徒・教職員・保護者 大里南小学校の児童・教職員・保護者 JICA 研修生・スタッフ

取り組みの成果と意義

多世代・国際交流の実践: 年齢や国籍の垣根を越えた協力体制のもと、地域の美化活動を実施。

学びを深める教育的アプローチ: 単なる清掃活動にとどまらず、回収した廃棄物の種類や地球環境への影響を考察。

海洋プラスチック問題への意識共有: 地域特有の海洋ゴミ問題から、地球規模の環境課題に対する危機感を共有。

